

原子力機構週報

Weekly Report (3/24~3/30)

近況

- 3月23日(金)、「炉心溶融挙動を予測する新しい数値シミュレーションコードの開発」を発表いたしました。
- 3月26日(月)、一般社団法人日本原子力学会社会・環境部会賞優秀活動賞を受賞いたしました。
件名：原子力・放射線に関する知識啓発を目的とした長年にわたる地域住民及び次世代層への双方向コミュニケーション活動
受賞者：スイートポテト(東海)、シュガーズ(大洗)、あっぷる(敦賀)
- 3月27日(火)、一般社団法人日本原子力学会技術開発賞を受賞いたしました。
件名：高速炉用低密度 MOX 燃料ペレット製造技術の開発
受賞者：核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料技術開発センター
- 3月28日(水)、「もんじゅ」廃止措置計画及び「もんじゅ」「ふげん」原子炉施設保安規定の変更について、原子力規制委員会から認可をいただきました。
- 3月28日(水)、「高速炉の複数系統連携による安全システム設計方針を開発、GIF 国際標準化へ」を発表いたしました。
- 3月29日(木)、「従来の40倍もの巨大フェラデー効果を示す薄膜材料の開発に成功」を公益財団法人電磁材料研究所及び国立大学法人東北大学と共同発表いたしました。
- 3月30日(金)、機構が保有する施設について、「施設の集約化・重点化」、「施設の安全確保」及び「バックエンド対策」の3つの観点より整合性のある総合的な計画として平成29年3月31日に公表した「施設中長期計画」を改定いたしました。
詳細は、https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/facilities_plan/gaiyo.pdf (概要)
https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/facilities_plan/keikaku.pdf (全文)

各拠点のトピックス

- 「第29回サイエンスカフェ(東海)」を開催いたしました。(東海 3/24)
- 「大洗研究開発センター施設見学会」を開催いたしました。(大洗 3/24)
- 瑞浪超深地層研究所の施設見学会を開催いたしました。(東濃 3/24)
- 「第15回J-PARC ハローサイエンス」を開催いたします。(東海 3/30 予定)
第15回テーマ：「重力波で宇宙を観よう！」
詳細は、https://j-parc.jp/symposium/Hello_science/index.html#event15
- 「敦賀事業本部」「敦賀廃止措置実証部門」及び「敦賀総合研究開発センター」発足式を開催いたします。(敦賀 4/3 予定)



- 瑞浪超深地層研究所の施設見学会を開催いたします。(東濃 4/21 予定)
詳細は、https://www.jaea.go.jp/04/tono/kengaku/kengaku_miu2.html
- 幌延深地層研究センターの施設見学会を開催いたします。(幌延 4/22 予定)
詳細は、https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/visits/kengaku_sunday.html

研究開発拠点のその他の状況

別紙のとおり

【本件に関する問い合わせ先】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

広報部 報道課長

佐藤 仁昭

TEL 03 (3592) 2346

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド研究開発部門

人形峠環境技術センター 総務課長

山本 和彦

TEL 0868 (44) 2211 [代表]



原子力機構 HP: <http://www.jaea.go.jp>
Twitter: https://twitter.com/jaea_japan

人形峠環境技術センター

- (1) ウラン濃縮原型プラント：ケミカルトラップ充てん物抜き取り作業停止中（H30/3/26～）
- (2) 濃縮工学施設：パイロットプラント遠心機処理設備停止中（H30/3/16～）
設備機器等解体・撤去作業停止中（H30/3/17～）
- (3) 製錬転換施設：非破壊測定装置（アクティブ中性子測定型（機構名：JAWAS-N 装置））
によるドラム缶中のウラン量の非破壊測定停止中（H30/2/5～）

原子力科学研究所

- (1) 施設運転状況
 - ・ 研究炉(JRR-3)：施設定期検査中（H22/11/20～）
 - ・ 原子炉安全性研究炉(NSRR)：施設定期検査中（H26/12/1～）
 - ・ 定常臨界実験装置(STACY)：施設定期検査中（H23/11/30～）
 - ・ 軽水臨界実験装置(TCA)：施設定期検査中（H23/1/11～）
 - ・ 高速炉臨界実験装置(FCA)：施設定期検査中（H23/8/1～）

核燃料サイクル工学研究所

- (1) 再処理施設
 - ・ 施設定期検査中（H19/7/30～）
 - ・ 機器の点検整備中
- (2) プルトニウム燃料開発施設
 - ・ MOX 燃料に関する研究開発等を実施中

J-PARCセンター

- (1) 大強度陽子加速器施設(J-PARC) 運転状況等
 - ・ 物質・生命科学実験施設(MLF)：利用運転（H30/3/8～）
 - ・ ニュートリノ実験施設：利用運転（H30/3/9～）
 - ・ ハドロン実験施設：点検・保守（H30/2/26～）
 - ・ 加速器施設：利用運転（H30/3/8～）

大洗研究開発センター

- (1) 原子炉施設
 - ・ 材料試験炉(JMTR)：第 35 回施設定期検査中（H18/9/1～）
ホットラボ排気筒の高経年化に伴う取替工事竣工（H30/3/28）
 - ・ 高速実験炉「常陽」：第 15 回施設定期検査中（H19/5/15～）
 - ・ 高温工学試験研究炉(HTTR)：第 5 回施設定期検査中（H23/2/1～）
- (2) 照射後試験施設
 - ・ 燃料及び材料の研究開発のための照射後試験実施中

敦賀事業本部

- 1) 高速増殖原型炉もんじゅ
 - (1) 廃止措置準備中
- 2) 原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)
 - (1) 廃止措置中(使用済燃料搬出期間)
 - ・ 原子炉冷却系統施設(A 復水器及び湿分分離器（H29/4/3～H30/3/23）、主蒸気系及び隔離冷却系設備等（H30/1/26～）)の解体撤去工事
 - ・ 重水系ヘリウム系等の汚染除去工事（H21/1/26～H30/3/23）(原子炉建屋機器及び原子炉

播磨事務所

- (1) 大型放射光施設(SPring-8)：冬期点検調整期間 (H30/2/19～4/1 予定)

幌延深地層研究センター

- (1) 幌延深地層研究計画地下施設(研究坑道)工事(500m 掘削予定)：(3/30 現在)
 - ・ 立坑掘削深度
東立坑：380.0m、換気立坑：380.0m、西立坑：365.0m
 - ・ 水平坑道掘削長
深度 140m 調査坑道：186.1m、深度 250m 調査坑道：190.6m、
深度 350m 調査坑道：757.1m
 - ・ 工事作業 他
坑内外設備の維持管理
坑内にて人工バリア性能確認試験等の研究開発を継続中
- (2) 幌延深地層研究センターからの排水
 - ・ 排水処理設備：処理済排水の放流を実施中 (H30/2 月の平均排水量：89 m³/日)

東濃地科学センター

- (1) 瑞浪超深地層研究所 研究坑道の掘削工事：(3/30 現在)
 - ・ 立坑掘削深度
主立坑：500.4m、換気立坑：500.2m
 - ・ 水平坑道掘削長
深度 300m 水平坑道：166.4m、深度 500m 水平坑道：426.8m
 - ・ 工事作業 他
坑内外設備の維持管理
- (2) 瑞浪超深地層研究所からの排水
 - ・ 排水処理設備：処理済排水の放流を実施中 (H30/2 月の平均排水量：778 m³/日)

青森研究開発センター

- (1) 加速器質量分析装置(AMS)による分析業務
 - ・ AMS を整備中 (H30/3/24～)

福島研究開発拠点

- (1) 廃炉国際共同研究センター
国際共同研究棟：運用中
- (2) 楡葉遠隔技術開発センター
 - ・ IRID による原子炉格納容器下部 実規模試験体を用いた打設後の補強材等の健全性確認
期間 (8 月末～H30/3 月末予定)
 - ・ IRID による原子炉格納容器下部 実規模試験体の試験後養生期間 (4 月～H31/3 月予定)
 - ・ 楡葉遠隔技術開発センターの施設利用申込みを随時受付中
<http://naraha.jaea.go.jp/use/flow.html>
- (3) 大熊分析・研究センター
 - ・ 施設管理棟：H30/3 月運用開始 (H30/3/15 開所式開催)
 - ・ 第 1 棟：建設中
- (4) 福島環境安全センター
 - ・ 環境中のセシウム移行等の研究、遠隔による放射線モニタリング技術研究開発を実施中